

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b>	12.2 	・コピー用紙削減の取り組みについては、各課の報告による。 ・各課における削減の取り組みやテレワークの実施により、目標から6割減と大幅な削減を実現した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b>	12.2 	・令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、学生の入構制限や教職員のテレワークの実施により、異例な大幅削減となった。特に分別ボックス設置箇所縮減対象の日常回収排出量については、前年度に比べ約42%削減することができた。今回の実績については、異例の状況だったため、例年の実績と比較して参考にするには難しいため、来年度も引き続き目標に向けて取り組む。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b>	12.2 12.7 	・各課の報告による。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウエアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b>	7.3 12.2  	・新型コロナウイルスの影響により、八景キャンパスにおいては、オンライン授業等の導入により教室等を利用時間が少なかったため大幅な電力量の削減になった。（令和元年度比▲19.5%）また、鶴見・舞岡キャンパスにおいても新型コロナウイルスの影響により、令和元年度比▲1%以上の削減になった。 令和2年度は例年のキャンパスの利用の仕方とは異なるため、比較する数量として参考にするには難しい所がある。そのため来年度も引き続き令和2年度の年度目標を継続する。

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>会議等に限らず、MTGや打合せ等でも極力紙を使用しない努力をするとともにメール決裁も活用する。</p>	<p>12.2</p> 	<p>会議・打合せ等だけでなく、「大学案内」などの紙媒体での校正作業においても、極力紙を使用することなく必要最小限に抑えることができた。またどうしても印刷が必要な場合は、裏紙も積極的に活用した。</p>
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイバッグ、マイボトルの使用</li> <li>・丁寧に物を扱い、長く使用する</li> <li>・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>職員一人一人が分別を意識するべく、MTG等で適宜声掛けを行う。</p>	<p>12.2</p> 	<p>物品購入時は必要性を吟味し、廃棄物を増やさないように心がけた。</p>
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>・カタログ又は見積先に確認</li> <li>・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>・各職場の責任者がチェック。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>グリーン購入の適合品を意識し、優先的に購入する。</p>	<p>12.2 12.7</p> 	<p>グリーン購入で調達できるものはするよう、心がけた。</p>
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>・暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用）</li> <li>・教室、部屋の不在時消灯</li> <li>・エレベーター使用時は2UP3DOWN</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>エアコンによらない、扇風機等も活用した適切な室内温度管理を行う。</p>	<p>7.3 12.2</p>  	<p>エアコンに頼り過ぎずに、年間通して適切な温度管理を行った。</p>
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
印刷物の制作	校正作業による紙の削減及び制作冊子の印刷部数削減	<p>【各取り組み】</p> <p>校正作業時の印刷部数を最小限にするとともにデジタル媒体等も活用し極力印刷する部数を減らす。</p>	<p>12.2</p> 	<p>紙媒体からデジタル媒体に切り替えるとともに、校正時の印刷部数も必要最小限に留めた。</p>
		<p>【各取り組み】</p>		
環境活動者の取り組み評価	<p>広報担当では、大学案内をはじめ掲載記事の校正などこれまで紙の印刷で確認をしていたものが多かったが、できるだけデータ上で確認することを心がけるなど、省資源を意識、実践することができた。また、省エネルギーや廃棄物の削減など日ごろから意識して執務にあたっている。</p>			

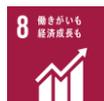
共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・室内の情報共有時はメール添付で行う。	12.2 	室内の情報共有にはメーリングリストを利用し、コピー用紙削減に取り組んでいる。また、印刷が必要な場合はN-upを基本とし、裏紙を利用するなどの取り組みも継続し行っている。会議についてはオンライン開催を主とし、各自のPC上で資料を閲覧出来るようにするなど、不要な紙の印刷を控えている。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・室内使用のごみ箱を閉鎖し、各自極力ごみの出ない仕組み作りを行う。	12.2 	室内共通の物品コーナーを設けており、これを共同で利用することにより、購入を控えている。また、物品購入の際には各担当よりメールや打合せ等で意見を聴いてから購入するなど、室内で情報共有を行い、購入の必要性について十分な検討を事前に行っている。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・消耗品、備品類発注の際はグリーン購入適合品有無を確認の上見積もり・決裁を取得する。	12.2 12.7 	物品の購入については継続しグリーン購入を意識している。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウエアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・空調使用時のブラインド使用 ・窓を開けこまめに換気を行う。	7.3 12.2  	冷暖房温度基準の遵守、会議室や給湯室なども含め、不在時の室内消灯などに取り組んでいる。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
オンライン留学 枠組み整備	COVID19の影響で渡航機会が制限される中、自宅より質の高い授業を受講できる教育の機会を与える。	<b>【各取り組み】</b> ・経済的負担を極力軽減したオンライン留学機会を提供する。	4.3 	学生のニーズにあわせたオンラインプログラムの受講を推進し、経済的負担や希望言語など、より多様な学生のニーズにこたえられるようなプログラムを開設している。
留学生 受入	JICA等機関と連携し、日本で研究を希望する学生に教育の機会を与える。	<b>【各取り組み】</b> ・JICAプログラムを通じてアジア・アフリカ等からの留学生を受け入れる	4.3 	JICA ABEプログラムやJSTさくらサイエンスプランなどにより、アジア・アフリカの学生を受け入れている。
環境活動者の 取り組み評価	取り組みの内容を環境管理研修等を通じ共有し、都度議論することによって、環境についての意識が高まった。また、あわせて日頃の業務などを見直すきっかけとなった。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組み】</b> ・説明(会議)資料を簡潔にする。 ・全ての複写機にコピー用紙削減(単価等記入)のポスター掲示を行い啓発を促す。また、購入量についても各課にフィードバックを行い意識してもらおう。 ・打ち合わせでも、資料を印刷せず、メール等で資料を共有し、各自PCを持ち込む。 ・各部署に、ペーパーレス会議システム及びzoom等Web会議の積極的な利用を働きかける。	12.2 	・会議、契約審査会、打合せ等の資料をzoom画面共有やメールでの事前共有し、端末持ち込みで印刷物を準備しないことを原則として実施した。 ・課内の資料共有などもTeamsなどのツールを活用して閲覧した。 ・コピー用紙削減の啓発として、購入量を各課にフィードバックした。 ・担当内の供覧資料等で印刷が必要な場合は必ず裏紙を使用した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組み】</b> ・3Rから5Rへ意識を向ける。 ①Refuse(リフューズ) 断る ②Reduce(リデュース) 発生抑制 ③Reuse(リユース) 再使用 ④Repair(リペア) 修理 ⑤Recycle(リサイクル) 再生利用	12.2 	・各課から不要になったリサイクル可能な消耗品を、学内払出物品の在庫に加え、再利用を徹底した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組み】</b> ・全職員にグリーン購入について知ってもらう啓発チラシを作成する。	12.2 12.7 	・グリーン購入対象商品に関しては優先的に適用品を選択した。 ・啓発チラシを作成することができなかったが、定例決裁簿のグリーン購入適合欄の運用を通じて、啓発を図った。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装(夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用) ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組み】</b> ・始業前、昼休憩時などの業務時間外は消灯を徹底する。 ・打ち合わせ等退席時のPC電源オフ ・エアコン使用時の扇風機の併用	7.3 12.2  	・残業や休日出勤、テレワーク等で職員が少数の時は、必要最小限の点灯・暖房とした。 ・始業前、昼休憩時の消灯を励行した。 ・離席時の端末スリープや電源オフを励行した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
備品・物品管理	各所管で不要となった物品は、再利用するなど、物品の購入を必要最低限に抑える。	<b>【各取組み】</b> ・安易に物を購入せず、YCU-Netの再利用物品コーナーの積極的活用を推進する。	12.2 	・再利用物品コーナーだけでなく、学内に積極的に声をかけ、リサイクル可能な消耗品を回収し、払出物品として学内での再利用を行った。
会議の運営	会議の運営に係る電力の消費や、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<b>【各取組み】</b> ・会議室は極力同じ部屋を連続して使用(できるだけ執務室を使用)する ・ノートPC、タブレットの使用 ・紙配付資料の削減	7.1 12.2  	・諸室の電力使用削減のため、zoom会議は極力自席で出席、打合せはできるだけ執務室内でするなど工夫した。 ・会議、契約審査会、打合せ等の資料をzoom画面共有やメールでの事前共有し、端末持ち込みで印刷物を準備しないことを原則として実施した。
財務会計システムの更新	令和3年の財務会計システム更新にあたり、使用する回線を専用回線から事務用(基幹システム)回線に統一する。	<b>【各取組み】</b> ・財務会計システム専用PC削減によりPC購入台数を減らす調整を行う。 ・回線統一と事務用PCへの集約により電力消費を抑える調整を行う。	7.3 12.2  	・令和3年度の導入に向け、回線統一と専用端末廃止とする仕様とした。令和3年度更新以降、電力消費減、新規端末が購入不要となるなどの成果が見込まれる。
環境活動者の取り組み評価	企画財務課では、全学に影響する事項を所掌することも多く、令和2年度では、 ・多くの会議体・審査会を所管していたため、コロナ禍を機とした会議のzoom開催により、多くの資料印刷を廃止した。 ・法人全職場が利用する財務会計システムの更新において、事務効率化、省エネルギーのいづれにも寄与する仕様とした。 ことなど、環境に対して職員が常に意識を持ちながら業務に取り組むことができたと考えている。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・担当内での共有すべき資料はデータ上で共有する。	12.2 	・プリントアウトは両面印刷及びN-up印刷を行った。 ・データでの資料共有を意識し、印刷部数の削減に取り組んだ。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組】</b> ・不要備品の再利用(再利用物品コーナーの設置)	12.2 	・物品は再利用を心掛けるとともに、購入する場合は必要性を十分検討し計画的な購入を行った。 ・マイバッグ、マイボトルを使用した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 <b>【各取組】</b> ・各職場の責任者がチェック。 ・各担当者が物品購入に環境配慮物品等を調達する。	12.2 12.7 	・環境管理研修にて必要性を確認した。 ・購入時にはグリーン購入の適合品であるかの確認を行った。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。 舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装(夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用) ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組】</b> ・ブラインドの使用	7.3 12.2  	・ブラインドや扇風機を使用するとともに、季節に合わせた服装で温度調整した。 ・廊下や執務室など不在時は消灯した。 ・上下階への移動の際には、積極的に階段を使用するようになった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
来客対応	来客対応時の空調負荷を軽減し、快適さと両立させる。	<b>【各取組】</b> ・空調と空気攪拌(扇風機)機の併用をするとともに、時期に合わせたお茶出し等を行い、空調負荷を軽減させる。	12 	・空調と空気攪拌(扇風機)機を併用し、時期に合わせたお茶出し等を行い、空調負荷を軽減させた。
工事	地球温暖化ガスの排出削減工事に於いて、建設機械は国土交通省が認定した排出ガス対策型を100%使用する。	<b>【各取組】</b> ・工事施工者に対して、建設機械については排出ガス対策型を使用することを依頼する。 ・建設機械の現場搬入時に、排出ガス対策型であることを確認する。	12.2 	・現場説明書に記載するとともに、排出ガス対策型の使用を依頼し、適合状況を確認した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	
屋外清掃	委託先において、廃棄物の再利用を行う	<b>【各取組】</b> ・不要になったものを積極的に再利用する。	12 	・不要になったものでも、廃棄せず使用できる場所は修理し、再利用をするよう意識的に取り組んだため廃棄物の削減などにつながった。
修繕、改修	環境への配慮を明確に伝える。	<b>【各取組】</b> ・グリーン購入適合品の使用を仕様書に明記し、工事実施時点で適合状況を確認する。	12.2 12.5 15.1  	・仕様書に記載し、グリーン購入適合品の推奨及び適合品があった場合は適合状況を確認した。
施設の長寿命化	施設の点検等により必要な箇所を対応する。	<b>【各取組】</b> ・建築物の劣化において、早期に修繕対応することで、大規模な修繕とならないようにする。	12.2  	・第1講堂の渡り廊下、YCUスクエア前掲示板の塗装修繕を早期に実施し、築造換えにならないように対応した。
エネルギーの節約	全キャンパス合計で、エネルギー使用量を3年間で、1%削減する。	<b>【各取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止・季節に合わせた服装(夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用) ・教室、部屋の不在時消灯 ・冷温水機等のインバーター化 ・省エネ機器の導入 ・老朽化設備の更新 ・照明のLED化	7.3 12.2  	・本校舎の教室内の照明をLED化することにより電力使用量の削減を行った。 ・学術情報センター北棟の冷温水発生器の老朽化をオーバーホールで対応。 ・シーガルのエアコンを省エネ型へ更新し、ビデオホールについてはシーリングファンの設置を行い、省エネ化を行った。
スクラバー実験排水	敷地外に漏洩させない	<b>【各取組】</b> 日常点検、教員への啓発・周知を行う	14.1、14.2、6.3、12.4、12.5   	・総研棟及び理研棟のスクラバーの1回の点検を行い、総研棟のスクラバーの修繕を行った。

環境活動者の取り組み評価

今年度は新型コロナウイルスの影響で例年の通常運営と違っており、評価をすることは難しい状況ではあったが、各共通項目については、データを活用したコピー用紙の削減、物品の再利用、取り組みを意識して節電などを徹底する事ができた。また、所管目標については、各項目を意識的に取り組むことで、ほぼ全ての項目を目標設定どおりに取り組むことができた。なお、所管業務目標のエネルギーの節約については、引き続き意識し取り組む必要がある。

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> 委託業者にも両面N-upでの印刷を依頼する	12.2 	両面N-upでの印刷を習慣づけることで、印刷枚数を削減
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> 部屋のレイアウト変更やシステム更新等で不要になったLANケーブルを再利用する	12.2 	動作不良になったPCのHDDをSSDに換装することにより延命・継続利用し、廃棄PCの量を削減
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> 消耗品は必ずグリーン購入適合品を選ぶ	12.2 12.7 	消耗品購入時にはグリーン購入適合品を選択
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。 舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> PCを一定時間操作しなかった場合にディスプレイの電源を切ってスリープ状態になる設定にする	7.3 12.2  	システムの一括処理など途中でスリープすると不具合が生じる作業を行わない端末については、ディスプレイの電源を切ってスリープ状態になる設定を実施
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
ネットワーク基盤の更新	法人全体で機能が同一のサーバを集約することで物理的機器を減らし、電力消費を抑える	<b>【各取り組み】</b> 全拠点で共有する事務職用ファイルサーバを用意し、個別で導入する機器を減らしていく	7.3 	全拠点で共有する事務職用ファイルサーバを構築し、附属病院にて現在以降作業を実施中
ネットワーク基盤の更新	無線LAN環境エリアを拡張することで、WEB会議化やペーパーレス化を促進する	<b>【各取り組み】</b> 未設置の会議室や共用スペースに無線のアクセスポイントを設置する	9.4 	未設置の会議室や共用スペースへの無線アクセスポイントを設置し、WEB会議やペーパーレス化を促進
在宅テレワークの実践	様々な状況下であっても働きやすいように在宅テレワークの制度を積極的に活用する	<b>【各取り組み】</b> 育児中等の職員が在宅テレワークで業務が行いやすいように役割分担、環境整備をする	8.5 8.8 	各職員週2回の頻度での在宅テレワークを実施
環境活動者の取り組み評価	動作不良のPCについては、HDDからSSDに換装することで34台を廃棄せずに、パフォーマンスを改善した状態で、延命・継続利用することができた。 無線LAN環境エリアの拡張により、WEB会議へのスムーズな参加が可能になるとともに、対面会議においてもノートPCを持ち歩いてペーパーレスで打合せを行う頻度が増え、習慣化しつつある。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・執務室に不要なコピーの削減を呼び掛けるポスター掲示 ・N-up印刷、両面コピー、裏紙使用に努める	12.2 	・コロナ禍の影響でオンライン会議が多くなり、会議資料をOneDriveで共有することでペーパーレス化に繋がった。 ・N-up印刷、裏紙使用については執務室にポスターを掲示し認識を深めるよう務めた。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組】</b> ・環境整備チームでのシュレッダー業務のPRと拡大 ・地球環境資源の保全と3Rの大切さを職場内で共有	12.2 	・事務用品で10年以上使用してきて故障とみられるものについては修理等を十分に検討し、修理不可の際は購入した。 ・秘密文書の溶解処理量を削減するため障害者雇用推進室にシュレッダー処理を依頼した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b> ・課内での周知徹底	12.2 12.7 	・消耗品についてはカタログでグリーン購入法適合商品を選択し購入するよう務めた。 今後も課内でグリーン購入について認識を深めるよう周知徹底に努めたい。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組】</b> ・ブラインドを降ろし直射日光を遮断（夏季） ・サーキュレーター等を活用	7.3 12.2  	・冷暖房の温度を所定の温度に設定し、上着で調節する等快適に業務できるよう取り組んだ。 ・夏季はブラインドを降ろし、サーキュレーターを使用する等電力削減に務めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
育児・介護制度の利用促進	教職員が育児・介護制度を利用しやすい職場環境を整える。	<b>【各取組】</b> ・各制度の周知徹底及び情報の汲み取り ・ダイバーシティ推進計画の周知と目標達成	4.4 5.4  	ポスターを掲示し育児・介護制度を周知し、教職員が働きやすい環境を整えるよう務めた。
キャリア支援	性別に関わらず、性別に関わらず、昇任やキャリアアップの機会が得られる職場環境づくりを進める。	<b>【各取組】</b> ・キャリアデザイン研修の中で、職員のキャリア意識向上を促す	4.4 5.5  	・ダイバーシティ研修を実施 ・管理職に占める女性職員の割合 事務・技術職16.6%、医療技術職38.5%。いずれも前年度より上昇。
働き方の見直し	超過勤務の縮減や休暇制度の利用促進により、誰もが働きやすい職場環境を整える。	<b>【各取組】</b> ・在宅型テレワークの本格実施に向けた取組をすすめる ・ワーク・ライフ・バランスを推進するための積極的なPR	7.3 8.5  	・テレワーク制度の制定（R3.4より） ・テレワークマニュアルを作成し在宅型テレワークの必要性、実施する際の注意点等を周知
障害者支援の推進	障害の有無にかかわらず、誰もが生き生きと働ける組織風土を醸成する。	<b>【各取組】</b> ・活動状況や取組の成果を法人内外に広く周知し、理解を促す ・雇用機会の拡充及び職域の拡大	8.5 10.2  	・「環境整備チーム通信」を発信。活動状況の報告、業務依頼を周知した。

環境活動者の取り組み評価	コピー用紙使用については会議資料等でOneDriveを利用してペーパーレスにすることで昨年度に比べ削減することができた。 コロナ禍の影響でオンライン会議が主流となり今後もさらにペーパーレス化に努め削減に取り組みたい。 ワークライフバランス制度についてはポスターを掲示し制度を周知し、制度が理解されるよう今後に期待したい。
--------------	--

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・使用状況のこまめな管理と分析 ・遠隔会議システムの活用 ・配布物資料の持参、及び回覧による資料の削減を図る ・使用状況の管理	12.2 	両面、N-up、裏紙での印刷は標準として行われている。オンライン会議も浸透しており、ペーパーレスにつながっている。コピー用紙使用量は各担当内で共有されており、数値目標を達成した。(目標値421,000枚、実績値361,000枚)
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う <b>【各取組】</b> ・各所管で不要になった備品の再利用 ・文具・備品等の積極的な再利用・活用	12.2 12.5 	関係事務所管と連携し、備品の再利用を進めた。教員の採用・退職に伴う研究室等の備品移動についても、事前確認により状況を的確に把握し、廃棄削減・再利用に努めた。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入 ・各職場の責任者がチェック <b>【各取組】</b> ・新たな適合品に関する情報収集 ・整理整頓をし、物品の重複購入を控える ・積極的な情報収集	12.2 12.7 	各担当において環境管理研修を通じての啓発を行うとともに、重点整理期間を設け物品の重複購入防止に努めた。グリーン購入については、適合品であるかを都度確認しており、適合品がある物品については優先的に購入している。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウエアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN <b>【各取組】</b> ・ブラインド、カーテンの効果的利用 ・パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 ・こまめな温度管理	7.3 12.2  	テレワークの取組をはじめ、空調、照明、パソコン、コピー機等の消費電力を効果的に抑制するよう、職員への啓発を行った。ブラインドの利用による直射日光の遮断やこまめな温度管理、使用していないPCやコピー機は省電力機能の設定をするなど電力の節減に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
啓発への協力	海洋都市横浜うみ協議会での活動を通じ、海における環境保護活動に協力する。	<b>【各取組】</b> ・海洋環境問題に関する講座開催	14.3 	横浜市政策局と連携の上「海と産業革新コンベンション」への出展、関連するエクステンション講座の開催を通じ、SDGsへの啓発活動に貢献した。
教育・啓発	SDGs関連の公開講座、授業等について、積極的な協力を行う。	<b>【各取組】</b> ・SDGs関連公開講座、授業等について、運営協力、広報への協力	4.4 8.8 10.2   	本学授業科目におけるSDGs該当項目の集計と学内展開、学内教職員・学生対象のFD研修会を開催した。シラバス作成時にSDGs関連の授業の情報収集を行い、学生に公開するなど、広報活動への協力を行った。

環境活動者の取り組み評価	ペーパーレスについては、各職員に浸透しつつあるが、教員が授業で使用する教材には多くの紙が使用されているため、引き続き啓発が必要である。コロナウイルス感染症拡大防止に係る本学の方針に基づき、オンライン会議、遠隔授業にも取り組み、これを契機としペーパーレス化が推進できると考える。 SDGsについては、公開行事・講座に加え、本学授業科目及び研修会を通じての取組も行い、学長諮問会議において定期的に報告を行った。引き続き、内容を精査しながら発信していきたい。
--------------	---

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・課内での情報共有は、メールの添付資料等で行う。 ・カラーコピーは原則禁止。グラフ等を活用する場合は、白黒でも見やすい資料づくりを行う。	12.2 	学生支援課では、プリントなどは基本的に両面印刷とし、コピー用紙の使用削減に努めている。しかしながら、会議などでのタブレット使用は、ほとんど進んでいない状況である。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・各々人で廃棄物の分別を徹底する。 ・他部署で発生した不要備品等の再利用を進める。	12.2 	学生支援課では、ごみの分別について徹底して行っている。また、他部署での不要備品などの再利用を進めている。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・引き続き、グリーン購入の徹底を図る。	12.2 12.7 	学生支援課では、事務用品などの購入の際は、極力、グリーン購入適合品を購入している。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウエアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・こまめに冷暖房等の運転・停止、廊下の消灯等を行う。	7.3 12.2  	学生支援課では、常に節電を意識して行動している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
学生への啓発・指導	環境に配慮した取組・行動を学生へ啓発・指導する。	<b>【各取り組み】</b> ・環境に関する情報について、SNS等を活用し、学生へ周知・啓発を行う。 ・施設利用後、速やかに照明の消灯、空調の停止等を行うよう、節電への取組を学生に対し指導する。	7.3 12.2  	学生支援課では、環境に関する情報などについて、学生に対し啓発している。また、施設利用後の消灯など、学生に対して節電への取組に関する指導を行っている。
環境活動者の取り組み評価	概ね計画は達成できているが、今後も当該職員とともに、この取組を徹底していく。また、学生に対して、電力の節電、環境に配慮した行動などについて、引き続き啓発していく。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> </ul> <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複写機の前に単価等が記入されたポスターを貼り、啓発を促す。また、月に使用した枚数についても周知を行う。</li> <li>遠隔での会議では、紙の資料はできるだけ配布せず、画面共有機能を利用することを基本とする。</li> </ul>	12.2 	各自裏紙の活用、N-up印刷を積極的に取り入れている。会議においてもオンラインでの開催が多く、画面共有をメインに進めている。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ、マイボトルの使用</li> <li>丁寧に物を扱い、長く使用する</li> <li>購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。</li> </ul> <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レジ袋、割りばし等の利用を控え、マイバックや箸を持参するように心がける。</li> </ul>	12.2 	昼食時など、マイバックを持参し買い物をするように心掛けている。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>カタログ又は見積先に確認</li> <li>見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>各職場の責任者がチェック。</li> </ul> <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適合品で代替できるか否かを必ず検討したうえで、物品を購入する。</li> </ul>	12.2 12.7 	環境管理研修を通じて、各職員への周知を徹底していきたい。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用）</li> <li>教室、部屋の不在時消灯</li> <li>エレベーター使用時は2UP3DOWN</li> </ul> <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扇風機を活用し、消費エネルギーを節約する。</li> <li>定時を過ぎたら、入口付近の電気をOFFにする。</li> </ul>	7.3 12.2  	定時後の使用していない電源を落とす取り組みに対して、各職員が率先して行っている。階段も積極的に使用している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	
入試関連の書類のペーパーレス化	入試関連の書類をPDFなどのデータで配布することで、印刷をする用紙の枚数を削減する。	<p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WEB出願を取り入れることで、無駄になる用紙の枚数を減らす。</li> <li>入試広報関連の冊子をPDFでWEBサイトにアップロードしていくことで、資源の無駄遣いを削減する。</li> </ul>	12.2 	一部オンライン出願を開始したが、大幅な印刷枚数削減とはならなかった。これからも継続して資源の無駄を削減していきたい。
SNSや遠隔会議システムを用いた広報活動	オンラインでの広報活動を行っていくことで、移動を減らし、CO2の削減につなげる。	<p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Instagramのライブ機能の利用や、WEBオープンキャンパスの展開により、入試についての説明を行っていくことで、遠方からの移動を減らし、消費エネルギーの削減を行う。</li> </ul>	7.3 	昨年度はオンラインの会議やイベントが多く行われたため、移動が大幅に減った。それにより、消費エネルギーの削減ができた。
環境活動者の取り組み評価		<p>貼り紙や声掛け等積極的に行い、課全体で意識を各職員が自覚をもって取り組んでいる。</p> <p>引き続き一人ひとりが意識をもって取り組んでいけるように、啓発を行う。</p>		

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> </ul> <b>【各取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コピー機前に月別使用枚数を掲示し、視覚化により枚数削減意識を高める。</li> <li>目標値を超えそうな場合は、朝礼・課内ミーティング等で周知する。</li> <li>今年度、学生健康診断の間診表はウェブ問診を実施し、紙の使用量を削減する。</li> </ul>	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> <li>両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷は可能な範囲で対応できた。</li> <li>オンライン使用の会議では事前に資料をEメールで送付している。</li> <li>月別使用枚数を掲示して視覚化したので、削減意識は高まった。</li> <li>学生健診の間診はウェブ問診を初めて実施できたが、最終的に紙での出力が必要となったため、使用量の削減には至らなかった。</li> </ul>
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ、マイボトルの使用</li> <li>丁寧に物を扱い、長く使用する</li> <li>購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。</li> </ul> <b>【各取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文房具ストック類の定期的な整理整頓を実施し、適正量を管理する。</li> </ul>	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ・マイボトルの使用や丁寧な物品の扱い、また物品購入時は十分に検討した。</li> <li>薬品庫等の整理整頓を行い、YCUスクエア移転時に保管されていた文房具等を発見し利用した。</li> </ul>
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>カタログ又は見積先に確認</li> <li>見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>各職場の責任者がチェック。</li> </ul> <b>【各取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン購入について、課員への周知を課内ミーティング等で徹底する。</li> </ul>	12.2 12.7 	<ul style="list-style-type: none"> <li>カタログや購入先に確認をしてから購入している。</li> <li>課員にはミーティング等で周知した。</li> </ul>
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用）</li> <li>教室、部屋の不在時消灯</li> <li>エレベーター使用時は2UP3DOWN</li> </ul> <b>【各取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症拡大防止のため、定期的な換気も実施し効率的に冷暖房を使用する。</li> </ul>	7.3 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症拡大防止のため、定期的な換気を考慮しながら効率的に冷暖房を使用した。</li> <li>暖房用電気ヒーターは全て廃棄したが、服装やひざ掛け等の使用で調節できている。</li> <li>不在時の消灯(保健室・休養室・面談室等)は確実に実施できている。</li> </ul>
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
受動喫煙防止	キャンパス内敷地内全面禁煙の実効性を高めるよう、啓発等を継続する。	<b>【各取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健管理センターニュースや関連ポスター等の掲示による情報発信を行う。</li> <li>各種会議・委員会で周知する。</li> </ul>	3.9 11.6  	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員健診の結果の同封書類で啓発をした。</li> <li>安全衛生委員会等で周知した。</li> </ul>
薬品在庫管理	保健室内の薬品の在庫を把握し、適量を管理する。	<b>【各取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬品の漏えい、排水による汚染を起こさない。</li> </ul>	14.1 	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬品在庫の棚卸を年2回定期的を実施し、適正量を管理している。</li> </ul>

環境活動者の  
取り組み評価

コピー用紙の削減、消灯などの主な取組は定着しており、継続して実施できる見通しです。  
令和3年度は更に取組を進め、学生定期健康診断で使用する紙類を削減します。

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・令和元年度の使用状況を踏まえ、使用時期の目安を用紙箱ごとに貼付し、前年度実績を上回るペースでの使用を防止する。 ・会議のペーパーレス化への移行	12.2 	令和2年度のコピー用紙購入枚数は、A4換算で62,500枚と令和元年度の153,500枚と比較し40.7%となり目標を達成。コロナによる閉館、テレワーク、会議のペーパーレス化等によるところが大きい。今後も使用枚数の抑制を喚起する取り組みは継続して実践予定。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・年1回更新のプラスチック製市民利用カードは再利用する運用へと変更を検討 ・館内飲食コーナーのコーヒーマシン利用時におけるマイカップ利用の促進	12.2 	取り組みとして挙げた市民利用や飲食コーナーはそれぞれ利用自体が中止となったことから実行には至らなかった。しかし貴重室清掃用の掃除機やコロナ感染拡大防止の一環としてのサーキュレーターを新規購入の際は、適切な機能や消費電力を充分比較・検討する等、長く効果的に使用できることを念頭に商品を選択した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・グリーン適合の有無について、定例決裁簿の何時に都度確認	12.2 12.7 	消耗品購入に際しては定例決裁簿での承認依頼時、グリーン適合について3つ選択肢（適合・非適合・非該当）のチェックが必要なことから、都度確認を行い、非該当の商品以外は限られた予算の中でも努めてグリーン適合の商品を選ぶよう心掛けた。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・窓開け、扇風機での温度調整の促進 ・定時退勤日の空調・照明の節電強化	7.3 12.2  	必須取組項目に留意して運営することができた。感染拡大防止の観点から、特に換気を意識的に実施した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
環境管理の啓発	図書館として積極的に環境関連の資料を集め、利用者に向けた企画展示を行うことで考える機会を提供し、意識向上へと繋げる。同時に、環境活動に図書館として積極的に取り組む「グリーンライブラリー」の実現のため、職員個々の環境管理に関する見識を深める。	<b>【各取り組み】</b> ・学術情報センター・LLテラライブラリーでの環境関連資料の取書、展示。 ・SDGsや持続可能な社会に関する文献のオンラインでの定期的な紹介 ・職員個々がSDGs等に関する見識を深める自己研鑽に取り組む。	4.7 	学術情報センター及びLLテラライブラリーにおいて、SDGsに関する資料の企画展示を実施した。またSDGs関連の電子ブック等を積極的に収集した。令和2年度全学FD・SD研修会に参加し、課内で内容を共有した。

環境活動者の取り組み評価	・おおむね目標設定どおりに取り組むことができた。コロナの影響により、結果SDGs推進につながった部分も多い（閉館に伴う電力使用の抑制、会議のペーパーレス化等）。 ・SDGsに関する展示を行ったほか、学生が所有する有効活用のためSDGs本棚も実施し、会議体やメール等で広く周知を行い関心を引くことができた。 ・事務室内の空調機では、冷暖房温度の設定ができないため、適温を維持するためには消費電力が大きい電源ON/OFFを繰り返す必要があり、課題となっている。
--------------	--

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・書類からデータによる文書保管の推進 ・配布済み資料の持参 ・回覧の活用	12.2 	目標値：68,170枚 R2年度実績：56,750枚 消費率：83% ・Web会議の浸透、タブレット・プロジェクターの活用により、電子データでの情報共有が主となり、ペーパーレス化が進んだ。 ・両面N-upでの印刷が習慣づいている。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組】</b> ・分別の徹底 ・不要備品の再利用（机、棚等）	12.2 	・マイバッグやマイボトルを使用することを心がけ、ごみと資源物の排出抑制に取り組んだ。 ・分別についても、分別ボックスを活用して、各自自覚を持って取り組んだ。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b> ・消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける	12.2 12.7 	・消耗品・備品については、担当者が適宜在庫を確認し、グリーン購入100%を徹底している。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN <b>【各取組】</b> ・ブラインドの使用 ・空気攪拌（扇風機）機の併用 ・離席中におけるPCの省電力状態の徹底	7.3 12.2  	・冷暖房の温度を適正に設定し、扇風機やブラインドの併用、昼休憩時の消灯等、省電力に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
会議の運営	各種会議の運営をTV会議、PC、プロジェクターを活用し効率的に行うことで、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<b>【各取組】</b> ・TV会議、PC、プロジェクターの活用 ・紙配付資料の削減	7.1 12.2  	年度目標に加えて新型コロナ対策でも、学内外の会議でWebを積極的に活用した。また、対面による会議においてもできる限りPCやプロジェクター等を活用し、紙資料の削減に取り組んだ。
働き方改革の実施	新型コロナウイルス感染症対策も兼ね、教職員が柔軟な働き方ができるような環境整備に取り組む。	<b>【各取組】</b> ・テレワークや時差出勤の推進 ・休暇取得の促進 ・決裁等におけるシステム化の導入	8.5 	緊急事態宣言だけでなく、それ以外の期間においても、学内の制度やシステム等を活用し、テレワーク・時差出勤を推進した。
環境活動者の取り組み評価	Web会議や電子データの活用等によるペーパーレス化に取り組み、コピー用紙の消費率を、令和元年度も目標値の69%に抑制するなど成果を上げたが、令和2年度についても同83%と目標を達成した。 所管業務の目標とした働き方改革については、効率的・効果的な業務執行を心がけ、テレワークや時差出勤を積極的に推進した。また、課内文書の見直しを行い、申請書類等の押印省略に取り組んだ。電子押印・署名の導入についても、所管課に働きかけを行っており次年度以降の改善につなげていきたい。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・配布済み資料の持参 ・回覧の活用 ・eラーニングによる説明会の実施	12.2 	目標値：105,350枚 R2年度実績：56,750枚 消費率：54% ・WEB会議の浸透、タブレット・プロジェクターの活用により、電子データでの情報共有が主となり、ペーパーレス化が進んだ。 ・両面N-upでの印刷が習慣づいている。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組】</b> ・不要備品の再利用（机、棚等） ・再利用物品コーナーでの活用	12.2 	・不要となった書棚やデスクを、必要とする部門間で譲り合い、積極的に再利用に取り組んだ。 ・ゴミの分別は、各自自覚を持って取り組んだ。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b>	12.2 12.7 	・消耗品・備品については、担当者が適宜在庫を確認し、グリーン購入100%を徹底している。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組】</b> ・ブラインドの使用 ・空気攪拌（扇風機）機の併用 ・入口自動ドアの開閉を適宜調整	7.3 12.2 	・冷暖房の温度を適正に設定し、扇風機やブラインドの併用、昼休憩時の消灯等、省電力に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
会議の運営	各種会議の運営をTV会議、PC、プロジェクターを活用し効率的に行うことで、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<b>【各取組】</b> ・TV会議、PC、プロジェクターの活用 ・紙配付資料の削減 ・WEB会議（Zoom、Teams）の活用	7.1 12.2  	・WEB会議（Zoom、Teams等）の活用により、紙資料の配布削減に努めた。
研究環境の整備	研究棟のコピー機利用状況を把握し、経費削減に努めるよう教員へ周知する。退職教員の研究機器、資料等の廃棄を行い、研究環境の整備を行う。	<b>【各取組】</b> ・研究棟コピー機を大学一括管理への切替、消耗品の在庫管理による経費削減 ・研究棟の不要機器や資料の整理・廃棄を進める	9.1,9.4 12.2,12.5,12.7  	・研究棟のコピー機利用における経費削減などを教員へ周知した。コロナの影響もあり、研究等コピー用紙の執行額は大幅に削減した。（R1比で約200万円減） ・総研棟2階の資料室の不用資料の整理・廃棄を進め、研究環境の整備を進めた。
働き方改革の実施	研究費執行に係る事務の効率化を図ることで、教員の研究時間を確保し、研究支援基盤の充実を図る。	<b>【各取組】</b> ・必要書類やフローの見直し	7.3 8.3  	・コロナの対応で、発議書の提出方法を見直すなど、柔軟な対応を行った。 ・研究費執行における発注システムの業者ヒアリングや発生源入力など、教員の事務作業の効率化の検討を進めた。

環境活動者の取り組み評価	共通項目の取り組みでは、WEB会議の活用等によりコピー用紙の削減を達成したほか、物品購入に際しては必要性及び在庫の確認や再利用物品の活用等により適量購入に努めた。 所管業務においては、研究棟コピー機に関する経費削減に取り組むと共に、不要資料の整理・廃棄によるスペースの効率的な活用を推進し、資源の有効活用を進めることができた。
--------------	--

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・印刷時に紙の必要性を再考し、デジタルデータでも良いものは印刷を控える。	12.2 	講義、各種会議のオンライン化により、コピー用紙の消費も大幅に減少した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックスを継続し、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・物を丁寧に扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組】</b> ・レジ袋、割りばし等の使用を控える。	12.2 	レジ袋の有料化に伴い、マイバックを持参する学生、教員が常態化した。マイボトルの使用については、あまり進んでいないと思われる。今後の検討課題とした。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b> ・購入時には、できるだけ環境に配慮したエコーのあるものを探す。	12.2 12.7 	コロナ禍のため、国際総合科学群教員全体会議の開催ができなかったため、積極的なグリーン購入推奨ができなかった。教員への推奨方法を検討する。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケットを使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組】</b> 学生にも電気器具や実験機材等の使用に際して節電を促す。	7.3 12.2  	教員も感染に留意して出校日数を控えており、また、学生の登校も研究、授業を中心に必要最低限度としていることに加え、感染予防もあり、エレベーターの使用は減り、階段の使用が増加した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
自然科学系列				
薬品の管理	薬品の管理を適正に行う。	<b>【各取組】</b> ・台帳等を準備し、確認・管理を心がける。 ・安全マニュアルを遵守する。 ・不要になった薬品は速やかに処分する。 ・退官する教員は実験室等の薬品を処分する。	6.3 12.4 14.1 14.2   	安全マニュアルを学生に配布し、安全管理教育を行った。また、法令や安全マニュアルに則り、薬品管理を適正に行った。
実験装置の管理	実験装置を廃棄する際は有害物質を適正に処理する。	<b>【各取組】</b> ・退官する教員は実験装置や器具等を適切な方法で処分する。	12.4 12.5 	廃棄する実験装置に関しても適正に対応した
実験排水の管理	薬品を排水に流出させない。	<b>【各取組】</b> ・薬品は種別の基準に従って処理する。 ・使用器具は安全マニュアルに従って処理をする。	6.3 12.4 14.1 14.2   	実験廃液は安全マニュアルに則り8種類に分類し、管理を行い、専門業者に処理を依頼した。また、薬品が付着した紙類・ゲル・ガラスなど固形物も安全マニュアルに従い分類・管理し、適切に専門業者に処理依頼した。なお、これら廃液と廃棄物は一般排水、一般ゴミと区別して適切に扱った。
自然科学系列・人文科学系列 共通				
コピー用紙の管理	研究費で購入するコピー用紙について、前年度購入量を越さない	<b>【各取組】</b> ・両面印刷やN-up印刷等を心がける。	12.2 12.5 	学会、研究会のオンライン化により、コピー用紙の消費も大幅に減少した。
研究活動				
都市防災の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取組】</b> ・論文発表、Researchmap等で公表。	13.1 	関連成果を論文や学会で発表し、重要発表についてはホームページ等でとりあげた。
環境政策の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取組】</b> ・論文発表、Researchmap等で公表。	6.1・6.3 7.2・7.3・7.6 13.1・13.6 14.1・14.2 15.1~15.7     	関連成果を論文や学会で発表し、重要発表についてはホームページ等でとりあげた。
海洋環境の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取組】</b> ・論文発表、Researchmap等で公表。	13.1・13.6 14.1・14.2  	関連成果を論文や学会で発表し、重要発表についてはホームページ等でとりあげた。
貧困対策の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取組】</b> ・論文発表、Researchmap等で公表。	1.1~1.5 2.1~2.c 3.1・3.2・3.4・3.9・3.a 6.1 10.2~10.4     	関連成果を論文や学会で発表し、重要発表についてはホームページ等でとりあげた。
環境活動者の取り組み評価		新型コロナウイルス感染拡大の影響もあるが、概ね目標は達成できていると判断している。		

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・印刷時の必要性の再確認の徹底を周知する。 ・会議時等の紙配布資料の削減 ・情報共有はメールを積極的に活用する	12.2 	オンラインでの授業が増加したため、目標72,050枚に対して、本年度38,000枚と大幅な削減となった。 引き続き両面印刷の徹底や、配布資料の電子化推進に取り組んでいく。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う <b>【各取組】</b> ・再利用物品コーナーの活用	12.2 	廃棄物と資源化物の総量については、前年度実績より1%の削減を達成。 今後も、引き続き持ち込みゴミの禁止等の周知を徹底する。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入 ・各職場の責任者がチェック <b>【各取組】</b> ・市大・理研共催の一般公開イベント時、グリーン購入調達率100%を目指す	12.2 12.7 	キャンパス内での周知や回議中のチェックにより、100%を達成した。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。 鶴見キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウエアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組】</b> ・退室時の空調の消し忘れ防止の啓発	7.3 12.2  	キャンパス内での、不在時の照明offの周知を徹底したことで、電力消費量の1.2%削減を達成した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
教育・研究活動 支援	光熱水費・使用量の積極的な削減に取り組むよう啓発をする。	<b>【各取組】</b> ・教育・研究活動において、電気、ガス、水道の積極的な使用削減に取り組む ・キャンパス内でメールなどを活用し、定期的に周知を行う	7.3 	定期的にキャンパス内で教員への周知を行っており、削減の努力をしている。
施設管理・修繕等	環境に対する負荷の削減工事等において環境に対する配慮ができていないようにする。	<b>【各取組】</b> ・仕様書に取り込むと伴に業者へ指導する	14.1 15.1  	業者への指導を徹底している。今後も環境に対する負荷の削減に努める。
環境活動者の取り組み評価	新型コロナウイルス感染症を契機に授業や会議のオンライン化が進み、コピー用紙購入量を大幅に削減することができた。 また、教員・業者等にも取組内容の周知を適切に行い、環境負荷低減の意識啓発を行った。 引き続き、環境配慮及び環境保全に関する取組を進める。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
コピー用紙	令和元年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・使用状況のこまめな管理と分析実施。 ・担当内共有資料のデータ上共有。	12.2 	両面N-up、裏紙でのN-up印刷や、会議時、ノートパソコン等で資料共有する機会を増やすことで、紙使用を削減した。特に、R2年度は会議や打合せをオンラインで実施する機会が多かったことから、会議等にかかる紙使用は減じることができ、紙の購入数の減に繋げることが出来た。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため、前年度縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が前年度実績を越えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・事務室及び各研究室で生じた不要備品の再利用。	12.2 	研究室から不要備品が発生した際は、廃棄に移す前に、利用希望を確認し、再利用の工夫を行うことで、廃棄量の減少を実現した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・定例裁簿によるグリーン購入適否区分の確認。	12.2 12.7 	消耗品・備品購入時には、引き続き、グリーン購入を基本とする対応を徹底している。グリーン適合商品として即時判断が難しい場合にも、メーカーのサイト等の情報確認を適切に行う等、担当職員の環境管理にかかる意識定着が確認できた。
電力の節約	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウエアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・扇風機、サーキュレーター等、冷房機以外の機器の効果的な使用 以外の機器の効果的な使用。 ・ブラインド使用による、所内温度上昇の防止。（夏季）	7.3 12.2  	R2年度上半期は入構制限（コロナ対策）の影響により、所内における活動時間が例年より少ないことから空調稼働時間が少なかった。他方、下半期は換気対策のため、空調稼働時間が多かったが、年間を通じて総じて、平均電力使用量について昨年度比3%減じることが出来た。また、夏季においては、冷房使用に依存せず、扇風機・サーキュレーター併用等の工夫を行い、冷気を循環させ、効率的な空調を稼働に繋げることができた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	
啓発	研究所広報・地域貢献活動を通じ、木原生物学研究所の研究内容・取り組みを発信することで、気候変動、環境保護に係る啓発を行う。	<b>【各取り組み】</b> ・研究所ウェブサイトのコンテンツ整備・充実。 ・SNSや情報誌等のメディアを通じた、自治体等外部との連携。	4.4 13.3 17.17   	戸塚区主催「SDGsパネル展オンライン」への出展や、戸塚区SDGs取組み紹介冊子への原稿協力、その他、クラフトビール作りに係る活動を通じて所外においてもSDGs啓発活動を推進した。また、その活動を木原生物学研究所・本学ウェブサイトに掲載し、SDGs取組みに係る情報発信を行った。
		<b>【各取り組み】</b>		

環境活動者の取り組み評価	舞岡キャンパスとして現状を踏まえた取り組みを工夫し、各共通項目（コピー用紙・3Rの取り組み・グリーン購入・電力の節約・啓発）の目標を着実に達成することができた。 啓発面においては、昨年度に引き続き、木原生物学研究所産表を使用したクラフトビール作りを通じて、SDGs取組みを契機とした本学および研究所プレゼンス向上を実現した。 クラフトビール作りについては、R2年度はクラウドファンディングを利用することで、学内外の新たな対象者に向けた情報発信を効果的に行い、SDGs取組みに係る啓発を推進できた。また、テレビ・ラジオ・新聞等各種メディアからの取材依頼対応により、本学および研究所に関し効果的な広報を推進した。
--------------	--